

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号
**0225
(22)7711**
広報専用FAX
**0225
(22)7809**

真夏の風物詩

石巻川開き祭り



▲ 力を振り絞って白熱のレースを展開した学生たち

模擬店出店で本学PR

地域交流の輪を広げる

今年で86回目となる「石巻川開き祭り」が8月1、2の両日、石巻市を流れる北上川や市内中心部で開かれた。本学の石巻祭実行委員会、学生は、現代芸術研究会、経営学部丸岡泰三などが模擬店を出店し、本学をPRするとともに、地域の人々との交流の輪を広げ、志士チームが参加し、2日目の準々決勝までコマを進め大健闘した。



多くの来場者でにぎわった模擬店(左上も)

「孫兵衛船競漕」に参加



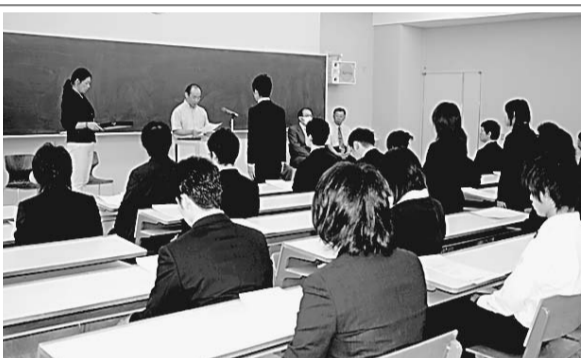
09年度みやぎ県民大学「石巻専修大学開放講座」の閉講式が7月30日、本学で開かれた。今年度は「未来予想図」この



石巻専修大学創立20年記念 青少年のための科学の祭典

小・中学生を対象に多彩な実験や工作を展開。科学の楽しさを知ってもらう体験型イベントを開催。

8/15、16(土、日) 9:30-16:30
石巻専修大学 創立20周年記念
青少年のための科学の祭典
2年生157人、同30日には石巻西高校の1年生



▲ 坂田学長から奨学生証書が手渡された

学部生61人、院生4人 奨学生証書を授与

本学では豊富な奨学生制度を整え、成績優秀者に対して奨学金を支給および課外活動などで優

奨学生証書の授与式が行われ、坂田学長から証書が手渡された。今回授与されたのは「在学生特別奨学生」11名、「新入生特別奨学生」1名、「新入生付属高校奨学生」1名、「新入生特別奨励学生」1名、「大学院特別奨励学生」5名で、本年度の対象者は、学部生61人、大学院生4人。1年次生については、入学試験において優秀な成績だった学生、課外活動において活躍が期待される学生、付属高校出身の学生が対象となった。

「開放講座」が閉講

「未来予想図」12講座終了

09年度みやぎ県民大学「石巻専修大学開放講座」の閉講式が7月30日、本学で開かれた。今年度は「未来予想図」この

クリエイティブ・スチューデントin石巻専修大学

県内3高校の477人 学びの楽しさ体験

高校生に学ぶことの楽しさを体験してもらおうと「クリエイティブ・スチューデントin石巻専修大学」を開催した。6月から7月にかけて、県内高校3校の生徒が本学を訪れ、特別授業を受け、学ぶことの楽しさを体験してもらった。6月25日には築館高校の1、2年生121人、7月2日には登米高校の2年生157人、同30日には石巻西高校の1年生

199人が来学。講義や実験・演習形式で行われた特別授業に積極的に取り組む姿が印象的だった。水の方で鉄やパンを切る実験や、ムービーカメラを使って観察する実験など、多彩なメニューが行われ、生徒たちは初体験となる大学での授業に刺激を受けていた。終了後、石巻西高校の奥山恒義校長は、「今日垣間見た大

女川町立女川第一小学校と女川第六小学校の児童が7月13日、本学を訪れ、見学と理科実験を行った。女川第一小学校からは6年生41人、第六小学校からは5、6年生7人が参加した。小学校では体験できない実験の数々に熱心に取り組んでいた。児童たちはまず5号館

はいろいろな植物の茎をカメラで撮った画像をモニターで観察。中込真二教授の「燃料電池・直流交流について学ぶ」、指方研二教授の「11円電池・電池になる?」では自分たちで電気エネルギーをつくり、高橋智助教の「温度差の利用について学ぶ」では温度差を利用して磁石をつくる実験を行った。児童たちは理科実験の面白さに目を輝かせていた。

ター長の工藤すばる理工学部教授から、受講者をしてほしいです」と話し、坂田学長は「受講して終わりではなく、大学を探索したことの感想として、長くなっても良いから文章にまとめ、自分なりの探検記を記してほしい」と生徒に呼びかけた。



▲ 植物の茎をモニターで観察



▲ 目を輝かせ、実験に取り組む小学生

IS奨学研究員3人

地域の研究成果を発表

石巻信用金庫から研究助成金を受けた本学の若手教員や研究生から2008年度「IS奨学研究員」の発表会が7月23日、森口記念館で開催された。いずれの研究も地域に関連したテーマを扱っており、一般市民も含め約100人の聴衆が研究の成果に耳を傾けた。研究発表に先立ち、石巻信用金庫から坂田学長に09年度IS奨学金の目録贈呈が行われ、川島純一理工学部教授が「最先端の自動車技術」と題して特別講演を行った。08年度研究員の益満環経営学部准教授は「牡蠣トレーサビリティ・システムにおけるリファレンス・モデルの構築に関する研究」について発表。理工学研究科の青田卓也研究生は「余剰汚泥中のノロウイルス低減に向けた検討」について、田村真介経営学部助手は「TOC(制約理論)を支援するスループット会計に関する一研究」についてそれぞれ発表した。

地元密着の研究を発表
IK地域研究員
石巻地域高等教育事業団からの地域研究費助成金で研究に取り組んでいる「IK地域研究員」による08年度発表会が7

月23、30の両日、本学で開かれた。23日は理工学部生物生産学部の鈴木英勝助教が「アカザライガイの生殖周期にもなる各組織の成分変化に関する研究」について発表。30日は経営学部経営学科の岡野知子准教授が「石巻地域における確定申告(各種控除の申請)に対する意識調査とe-Taxを用いた控除申請(税の還付)と地域住民への普及に関する研究」について発表した。いずれも石巻に関する研究テーマであり、集まった参加者は興味深そうに聴いていた。